

島から島へ。 飛ぶように走ろう。

広島県尾道から愛媛県今治まで続く「しまなみ海道」がすっかり有名になったが、その西側、呉市下蒲刈島から愛媛県今治市の岡村島まで小さな島々をつなぐ「とびしま海道」も見どころが多いおもしろいルートだ。飛び石を軽やかに飛ぶように7つの島を走ろう。

下蒲刈島から島旅スタート。

風光明媚な芸予諸島を渡る「しまなみ海道」に比べ、おだやかな安芸灘に浮かぶ小島の海沿いを走る「とびしま海道」のドライブは、何より潮の香りや風とひとつになる感じがいい。しまなみ海道のおよそ半分、約30キロのルートに旅の醍醐味がぎゅっしり詰まる。

まず、呉の市街地から安芸灘大橋を渡って下蒲刈島（しもかまがりじま）へ。唯一有料の橋だが、島々で飲食や買物すれば帰りの通行料は不要になる。

下蒲刈島は見どころが多い。島をまるごと庭園にしようとして整備が進み、三之瀬瀨戸を借景にした「松濤園（しょうとうえん）」ほか、松林の遊歩道に沿って美術館や情緒ある店々が並ぶ。

リゾートの島へ、眺めの島へ。

次の上蒲刈島（かみかまがりじま）は印象が一変。明るい日差しが似合うリゾート島だ。県民の浜には「輝きの館」「やすらぎの館」に天体観測館などがあり、多様なレジャーシーンを満たしてくれる。

隣りにある豊島では眺望が楽しみ。急斜面の狭い道を上るため、くれぐれも注意が必要だが、展望公園から



らの360度の大パノラマには大感激まちがいない。クルマを次の目的地に向けよう。とびしま海道でも人気が高い「御手洗みたらしい」のまちがある大崎下島だ。



海に浮かぶ小島を眺めながら海沿い道路を軽快に走る。



岬の立ち寄りスポット



三之瀬御本陣(さんのせごほんじん) 芸術文化館 / 下蒲刈島

この辺りは古くから瀬戸内をいく海上交通の要衝だった。三之瀬は当時「海駅」の役割を担い、多くの大名、幕吏、公家たちが宿泊所として利用した。また江戸時代には外交使節団「朝鮮通信使」を迎えるために、大きな役割を果たしている。いまは芸術文化館になっている。
●呉市下蒲刈町三之瀬311
☎0823-70-8088



蘭島閣(らんとうかく) 美術館 / 下蒲刈島

瀬戸内の美をテーマに、郷土ゆかりの作家から横山大観、福田平八郎など日本画の大家の作品までを展示している。格式ある本格木造建築で三之瀬のまちにしっかりと溶け込んでいる。
●呉市下蒲刈町三之瀬200-1
☎0823-65-3066

岬でひと風呂



輝きの館・やすらぎの館 / 上蒲刈島

とびしま海道最大のリゾート拠点「県民の浜」にある。「輝きの館」はレストラン・土産コーナー完備の宿泊棟、「やすらぎの館」は温浴施設だ。
●呉市蒲刈町大浦字沖浦7605
☎0823-66-1177 (輝きの館)
0823-66-1126 (やすらぎの館)

ついでにちょっと! お土産 & 小腹グルメ



古代からの逸品「藻塩(もじお)」
藻塩とは、海藻から取り出した塩のことで、まるやかな口あたりが特徴。上蒲刈では、古墳時代から日本の塩づくりの原点となった製塩法「藻塩焼き」があった。「であいの館」などで。

オレンジジュースとレモン菓子で一服。

ちょっと休憩したいときには、こんなにフレッシュコンビはいかが。ミカン、レモンの故郷らしく、新鮮なおいさでほっこりできる。大崎下島の御手洗(みたらしい)の休憩所などで。

●蒲刈島御番所など4棟と回遊式庭園を持つ「松濤園」。蒲刈島大橋が見える。

安芸灘 とびしま海道

瀬戸内に浮かぶ7つの島をつなぐ

ドライブデータ ●大阪 / 神戸方面から「山陽道」利用、359.3km / 340.9km
●広島方面から36.9km ●岡山方面から「山陽道」利用、188.5km
※出発地中心部から下蒲刈島までの距離

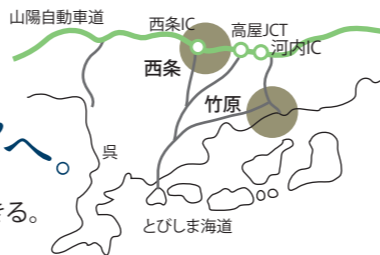
📍=ビューポイント 🚗=釣りポイント 🍽️=食事・お土産・休憩所 🏠=温泉

未知であらう道をいこう
広島県
呉市
愛媛県
今治市

未知にであう道をいこう
広島県
 竹原市・東広島市

島旅から“安芸の小京都”、西の“酒都”へ

ちょっと足を伸ばすなら、広島県の中央部へ。懐かしい時代へタイムスリップできる。



竹鶴酒造
 NHKの朝ドラ「マッサン」のモデル、竹鶴政孝の生家。昔からの酒造りを行う。
 ☎0846-22-2021 (竹鶴酒造)



竹原市歴史民俗資料館
 かつて図書館だった洋館に郷土の歴史、文化、暮らしの様子を展示する。
 ☎0846-22-5186



歴史民俗資料館横の広場には、竹鶴政孝とリタ夫人の像がある。



時間を忘れて歩く
 江戸時代のまち並み。

安芸の小京都

竹原

平安時代には京都下鴨神社の荘園だった竹原は、江戸時代になって製塩や酒造りで栄え、その遺産がいまに残り、風情ある小京都の佇まいを見せる。高台にある由緒ある寺、大屋根と漆喰の豪邸に意匠を凝らした竹格子の町屋。どの道にも見どころが多い。ここでは時間を忘れて、江戸時代の面影に浸ろう。

竹原の問合わせ☎0846-22-4331 (竹原市観光協会)
 ドライブデータ●とびしま海道・下蒲刈島から35.4km

普明閣(西方寺)
 京都の清水寺を模して建てられた観音堂。その舞台や境内からは竹原のまちが一望できる。
 ☎0846-22-7745
 (竹原市産業振興課)

竹原の伝統品

竹原格子を楽しみながら、竹細工をひとつふたつ。

竹原の町家の一軒一軒では、変化のあるデザインが美しい独特の「竹原格子」が楽しめる。「まちなみ竹工房」では、竹かごや置物などを展示販売。カンタンな編み方も教えてもらえる。マドラーやナイフなど、ちょっとしたお土産にもいい。



西国街道の酒蔵を訪ねて。

酒の新都
 西条

酒蔵通り
 酒蔵通りレンガの煙突に白壁の通り。JR西条駅の周辺、西国街道沿いには7つの酒造元が建ち並び、散策が楽しめる。各酒蔵では見学も受付、試飲販売などもある。



西条酒蔵通り観光案内所
 路地をまたいで建つ。まん中の「くぐり門」の右が案内所、左はカフェ。
 ☎082-421-2511 (観光案内所)



御茶屋(本陣)跡
 江戸時代には宿場町と栄え、広島藩の領内では最大の本陣が置かれた。
 ☎082-421-2511 (観光案内所)



カフェでは名水で淹れたコーヒーにほっとひと息。

まちのアチコチに水が汲める井戸がある。



とびしま海道の北の対岸、東広島市の西条は酒造りのまちだ。明治時代から始まった吟醸造りは全国にも知られ、大正、昭和の初めには「酒都西条」と呼ばれるまでになった。冬の仕込みに適した気候、良質の地下水、そして安芸津杜氏(あきつとじ)。それらこの地ならではの恵みと知恵の賜だ。西国街道の酒蔵通りを歩こう。

西条の問合わせ☎082-420-0310 (東広島市観光協会)
 ドライブデータ●とびしま海道・下蒲刈島から35.5km



歴史の見える丘公園

展望台の近くには駐車場がある。左手に港とまち並みの保存地区、右手に瀬戸内の美景が見える。



ノスタルジックな島から ロマンティックなしまなみへ。

とびしま海道ドライブのフィナーレは、東端に位置する岡村島。この島だけが愛媛県側に当たる。ノスタルジックな気分になりながら、ここからは来た道を戻り、市街地に向けて戻るか、フェリーを利用することになる。乗場からしまなみ海道の大三島や四国愛媛県の今治港までに行ける。時間にゆとりがあるなら、小島を跳めながらの約80分の船旅がオススメだ。夕陽に染まるしまなみ海道の来島海峡大橋の姿は、旅心をよりいっそうロマンティックなものにしてくれる。



「風まち、潮まち、港町」を歩く。
 大崎下島の御手洗(みたらし)は、瀬戸内の中央にあることで、江戸時代は中継貿易港として栄えた。ここでは時間をかけて、往時の面影を宿した佇まいのまちを歩きたい。入り組んだ迷路のようなまち並みは情緒に、かつての繁栄を示すかのようなハイカラな時計店や映画館がいまも残る。一方、海沿いは土産品の店



や船宿を旅館や食事処に改修した店が軒を連ねる。先に進めば、御手洗のランドマークになっている高灯籠と太鼓橋が目にとまる。旅の思い出を残す写真ポイントにオススメだ。
 このまちを一望するなら「歴史の見える丘公園」の展望台へ行こう。人が集い、ものが集まり、文化が育った華



やかな時代からゆっくり時間を刻んだ御手洗のまちが眼下に広がる。とびしま海道ドライブの余韻に浸るにはうってつけの景色だ。
 ゆったりとした時の流れに身を委ねるとびしま海道の旅。また、いつか戻って来なくなる、そんな風景と時間に出会えることだろう。



高灯籠と太鼓橋の先は県の重要文化財に指定される住吉神社。港に突き出した「千砂子波止(ちさごはど)」は江戸時代の波止場を修復したもの。